

平成 26 年 6 月 15 日現在

機関番号：34315

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2010～2013

課題番号：22320031

研究課題名(和文) '認識' と '構築' の自然の風景像 21世紀の風景論

研究課題名(英文) Landscape Representation of the 21st Century Art: The Recognition of Nature and Construction of Landscapes

研究代表者

仲間 裕子 (Nakama, Yuko)

立命館大学・産業社会学部・教授

研究者番号：70268150

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,200,000円、(間接経費) 4,260,000円

研究成果の概要(和文)：文化的差異の認識に基づき、グローバル化した自然問題とかがわる新たな風景論を模索した。国際シンポジウム「21世紀の風景表象 風景の構築と自然の認識」に続き、国際カンファレンス「風景の美学：伝統と近代」、「風景のアヴァンギャルド、風景のポストモダン」を開催し、当研究の4年にわたる研究成果の総括として、『自然の知覚 風景の構築。グローバル・パースペクティブ』(仲間裕子、ハンス・ディッケル編、三元社、2014年3月)を日英のバイリンガルで出版した。本著書は第一部「風景の思想」、第二部「風景のアイデンティティ」、第三部「風景のモダン、ポストモダン」で構成され、8カ国の研究者が寄稿している。

研究成果の概要(英文)：Based on the recognition of cultural differences, the research project aimed to search the new theory of landscape in relation to nature and its environmental problems. The international symposium, 'Landscape Representations of the 21st Century Art: The Recognition of Nature and Construction of Landscapes' was held in 2011 in Kyoto, followed by the international conferences, 'Aesthetics of Landscape: Tradition and Modern' and 'Avantgarde and Postmodern in Landscape' in successive years.

A bilingual book in Japanese/English edited by Nakama Yuko and Hans Dickel, Perception of Nature: Construction of Landscape. Global Perspectives, Tokyo, Sangensha Publishers Inc., 2014, was published as the 4-year research accomplishment. Researchers from eight countries contributed their papers. The book contains three themes: Theory of Nature and Landscape, Identities of Landscape, and 'Modern' and 'Postmodern' in Landscapes.

研究分野：哲学

科研費の分科・細目：美学・美術史

キーワード：時代の風景論 自然の風景 都市の風景 グローバル化した自然問題 風景に関する文化的差異の認識

### 1. 研究開始当初の背景

自然のテーマ化は、美学・美術史研究においても、地球規模の自然破壊の進行という現実とともに必要性を増している。風景はそうした危機に瀕した外的自然がわれわれに現れる場として、今や従来の伝統的な枠組みを超えた新たな論究の中心に置かれるべきであると思われる。自然や都市の風景に関する研究論文はすでに多数見られるが、今世紀の緊迫した状況における「時代の風景論」はいまだ端緒についたばかりである。

### 2. 研究の目的

本研究は上記の意図の下に、自然と都市の風景をテーマにした芸術作品の分析を行い、それぞれの自然概念を析出することを試みた。その際、必須となるのは、芸術家が対峙した、それぞれの時代の自然意識の解明であり、また特定の歴史・文化、アイデンティティへの顧慮である。したがって、国際的な共同研究が不可欠であり、このような文化的差異の認識に基づき、グローバル化した自然問題とかわる新たな風景論を模索した。

### 3. 研究の方法

現代の自然の美学(ゲルノート・ベーム『感性学』、マルティン・ゼール『自然の美学』他)の成果を顧慮しながらも、その方法論を超え、個々の作品分析と徹底的な資料調査を重視し、実証的な風景画/自然表象論を目指す。また、インターカルチュラルな観点を重視し、本風景論のプロジェクトの海外協力研究者のハンス・ディッケル(エルランゲン＝ニュルンベルク大学)、ゲイル・レヴィン(ニューヨーク市立大学)、ラファエレ・ミラーニ(ポローニャ大学)、クリスティーナ・ウィルコツェウスカ(ヤギェウォ大学)、刘成紀(北京師範大学)等とともに国際的議論に発展させた。

### 4. 研究成果

(1)国際交流のため、研究発表の場として2011年に国際シンポジウム「21世紀の風景表象 風景の構築と自然の認識」、2012年に国際フォーラム「風景の美学：伝統と近代」を開催し、最終年度の2013年には国際カンファレンス「風景のアヴァンギャルド、風景のポストモダン」を催した。これらの国際会議では、新しい自然表象を創出した美術作品や今日の環境美学等を注目しつつ、来るべき時代の「風景」について議論した。こうした4年間に渡る国際的な共同研究の総括として、『自然の知覚 風景の構築。グローバル・パースペクティヴ (Perception of Nature: Construction of Landscape. Global Perspectives)』(仲間裕子、ハンス・ディッケル編、三元社、2014年3月)を日英のバイリンガルで出版した。本書は第一部「風景の思想」、第二部「風景のアイデンティティ」、第三部「風景のモダン、ポストモダン」で構

成され、8カ国14名の研究者が寄稿している。なお研究代表者・分担者の研究成果としては、「古代ローマから中世キリスト美術にみる自然の転化」(加藤磨珠枝)、「イギリスモダニズムにみる都市の風景」(要真理子)、「雰囲気にみる自然観 日本の風景表象の伝統とポストモダン」(仲間裕子)、「透かし見る自然 ドガの風景画を巡って」(米村 典子)、「ベックマンの風景画にみる風景の切り取り方 窓のモチーフを手掛りに」(岡部由紀子)、「映画的特性と風景」(前田茂)の諸論文が収められている。

(2)海外における研究交流を重視し、研究代表者は、国際美術史学会(第33回、ニュルンベルク、2012)、国際美学学会(第19回、クラカウ、2013)でのセッションチェアの依頼を受け、スピーカーとしても参加した。国際美術史学会で担当した「複合的な美術」のセッションにおいては、ドイツ・ロマン主義の風景画「四季の循環」等の連続体の作品について、また国際美学学会においては担当の「美学と風景」のセッションで「美学と風景：風景の結晶化」を発表し、セッションの議論を今日の風景表象の諸問題へと導いた。また、研究代表者はこのような国内外での国際的な議論をさらに発展させた論を、ポローニャ大学、北京師範大学、エラスムス大学(オランダ)からの招聘講演において、「日本の風景美術の感性と近代性」、「崇高の風景としてのロマン主義美術」として発表し、この二本の研究論文はポローニャ大学高等研究院都市研究所、鄭州大学の紀要に掲載された。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計13件)

仲間裕子、カスパー・ダーヴィット・フリードリヒ 調和と乖離の自然観、シェリング年報、21、2013、42-54. 査読無

Yuko Nakama, Hans Dickel, The Multiple Artwork, The Challenge of the Object, 33<sup>rd</sup> Congress of the International Committee of the History of Arts, Congress Proceedings - Part 3, 2013, pp.928-930. 査読無

Yuko Nakama, "Modernity and Sensibility in Japanese Art of Landscape", Institute of Advanced Study, City Research Laboratory, University of Bologna, <http://www.laboratoriocitta.unibo.it/NR/rdonlyres/6456AAE1-C70D-4D55-8168-C259822ABC71/0/YukoNakamamarzo2013.pdf>, March, 2013, pp.1-10. 査読無

Yuko Nakama, Romantic Landscapes and the Sublime, trans. in Chinese by Liu Qingquan, *Journal of Zhengzhou University*, vol. 42, Nr. 2, 2013, p.94-97. 査読無

六人部 昭典、モネの《サン=ラザール駅》作品群、実践女子大学 美学美術史学、27号、2013、79-90. 査読有

Yuko Nakama, "Nature and Landscape in Contemporary Representation: A Comparative View on Japanese and Western Art", trans. in Chinese by Xu Scheng, *Hubei Institute of Fine Arts Journal*, Feb. 2012, p.82-87. 査読無

六人部 昭典、「印象」と筆触、実践女子大学 美学美術史学、26、2012、1-8. 査読有

Yuko Nakama, Nature and landscapes - How nature could become visible and perceptible, *The Journal of Asian Arts & Aesthetics*, vol.4, March, 2011, pp.IX-XI. 査読有

米村 典子、岡鹿之助とジョルジュ・スーラ、美術フォーラム 21、23、2011、106-109. 査読無

Yuko Nakama, Euphoria of Public Art, *The Journal of Asian Arts and Aesthetics*, No.3. 2010, 29 - 35. 査読有

六人部 昭典、「感覚」の位置 モネとセザンヌ、実践女子大学 美学美術史学、2010、1 - 10. 査読有

加藤 磨珠枝、西洋初期中世における教会堂装飾の諸相 美術はなにを語ったのか、キリスト教学、52、2010、195 - 208. 査読無

Mariko Kaname, The Dwelling Place of Memories, *The Journal of Asian arts and Aesthetics*, 2010, 53-58. 査読有

〔学会発表〕(計 7 件)

Yuko Nakama, Aesthetics and Landscape: Crystallization of landscape images, 19<sup>th</sup> International Congress of Aesthetics, July 24, 2013, Jagiellonian University, Krakow

Yuko Nakama, Hans Dickel, The multiple Artwork, 33rd Congress of the

International Committee of History of Arts, July 19, 2012, Nuremberg

岡部 由紀子、風景の眺め方と絵画空間の関係 ベックマンの海景画を手掛かりに、国際フォーラム・研究会、2012年2月18日、立命館大学

Yuko Nakama, Harmonie und Diskrepanz Friedrichs Vorstellung von Natur und die Kunst der Gegenwart, Perspektiven europäischer Romantik-Forschung heute, international Fachtagung, November 25, 2011, Alfried Krupp Wissenschaftskolleg, Greifswald

Yuko Nakama, Nature and Landscape in Contemporary Representation: A Comparative View on Japanese and Western Art, International Symposium on Theories of Art/Design and Aesthetics, October, 19, 2011, Antalya University

仲間 裕子、カスパー・ダーヴィト・フリードリヒ 調和と乖離の自然観、日本シェリング協会 第21回大会、2011年7月7日、明治大学

Yuko Nakama, Near and Far Landscape, Aesthetics and cultures, the 1st Polish-Japanese Meeting, Exchanging Experiences, May 24, 2011, Jagiellonian University, Krakow

〔図書〕(計 4 件)

仲間 裕子、加藤 磨珠枝、要 真理子、米村 典子、岡部 由紀子、前田 茂他、三元社、自然の知覚 風景の構築。グローバル・パースペクティブ、2014、311

要 真理子他、ナカニシヤ出版、自然学 | 来るべき美学のために、2014、194(160-170)

仲間 裕子他(佐藤直樹編)、竹林舎、ローマ 外国人芸術家たちの都(西洋近代の都市と芸術1)、2013、493 (99-119)

Yuko Nakama, Caspar David Friedrich und die Romantische Tradition, *Moderne des Sehens und Denkens*, Reimer Verlag, Berlin, 2011, 264

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

仲間 裕子 (NAKAMA, Yuko)  
立命館大学・産業社会学部・教授  
研究者番号：70268150

### (2) 研究分担者

岡部 由紀子 (OKABE, Yukiko)  
京都外国語大学・外国語学部・教授  
研究者番号：10281495

米村 典子 (YONEMURA, Noriko)  
九州大学・芸術工学研究科  
研究者番号：30243976

六人部 昭典 (MUTOBE, Akinori)  
実践女子大学・文学部・教授  
研究者番号：30239470

加藤 磨珠枝 (KATO, Masue)  
立教大学・文学部・准教授  
研究者番号：40422521

前田 茂 (MAEDA, Shigeru)  
京都精華大学・人文学部・准教授  
研究者番号：80368042

要 真理子 (KANAME, Mariko)  
大阪大学・コミュニケーションデザイン・  
センター・准教授  
研究者番号：40420426

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：